



(1) 学校開放自学 (4/14)



自学する様子 (質問する生徒もたくさんいました)

4/14(土)、3年生になって初めての学校開放自学を行いました。午前・午後を合わせて「96名」が参加しました。多くの参加者が部活動生で、【午前部活 → 午後自学 (またはその逆)】という計画のようでした。部活動生にとっては、この4～5月の時間の使い方が大切になってきます。地区大会や高総体前の部活動に集中することが多くなる時期だからこそ、「やれるときにやる」「スキマ時間を有効につかう」ことが求められます。次回は4/21(土)です。週末の学習計画を立て、先週を超える達成感を得られるような学習に励もう！

<後田先生の話 (高校当時はサッカー部) >

3年生のこの時期 (高総体まで) の目標・・・家庭学習を「必ず3時間以上」すること。

→ そうすれば、高総体後に「3時間未満の学習はありえない」という状況をつくれる。部活動がある中で3時間以上の学習に取り組んでいたのに、部活動がなくなって学習量が減ることを許さないという姿勢。部活動生のみんなも大いに参考にして、普段の学習スタイルを見直してみよう！

(2) 新入生歓迎のステージ (4/17)



演劇部『ピロシキ』 腎臓がピロシキに！？



コーラス部 スプリングコンサート

運動部と同じように、文化部の活動も残りわずか。3年間歩んできた仲間とともに、最高のパフォーマンスができるように、頑張ってください！文化部も「完全燃焼」です！

(3) 71回生に贈るエピソード ①

同じ能力を持つ2人の人間が、同じ悪条件の下で同じ課題に直面したとする。1人はそれができる理由を考え、積極的に行動し、それを成し遂げる。もう1人はそれができない理由を考え、行動をおこさず、結局、何も成し遂げない。

アップルとマイクロソフトは資本金1万ドル以下の零細企業から出発したが、どちらも世界的企業にまで成長した。なぜか？・・・それは、できる理由を創業者が考えたからだ。その結果、多くの人が共鳴し、その中から支援者が現れ、着実に業績は上がったのである。そのプロセスは次のとおり。

① 夢を見る ② 自分を信じる ③ 勇気を出す ④ 実行に移す

夢とは、まだ実現していない目標のことである。大切なのは、その実現のために最善を尽くして社会に貢献するという高い志をもつことだ。

世の中で最も残念な言葉は、「やってみたらできたかもしれない」である。それに対し世の中で最も感動的な言葉は、「やってみたらできた」である。・・・あなたは、どちらを選ぶ？ (参考『扉の法則』ジェームズ・パソツ)